

ガルダ・インドネシア航空

スカイトラックス社「The World's Best Economy class」を受賞

TYOGA-09-JUN /13

ガルダ・インドネシア航空(本社:ジャカルタ、インドネシア 社長兼最高経営責任者:エミルシャ・サタル)は、2013年6月18日(火)にフランス パリ航空ショーで開催されたスカイトラックス社による「The World Airline Awards(ワールド・エアライン・アワード)」にて以下の賞を受賞いたしました。

- ・「The World's Best Economy Class」 1位受賞 (昨年度 4位)
- ・「The World's Best Economy Class Seats」 1位受賞 (昨年度 4位)
- ・「The World's Best Economy Class Catering」 6位入賞
- ・「The World's Best Cabin Staff」 7位入賞 (昨年度 8位)
- ・「The World's Best Airline(ワールド・ベスト・エアライン賞)」 8位入賞 (昨年度 11位)

スカイトラックス社は、イギリスに拠点を置く航空産業コンサルティング・格付け会社で、今回のアワードは、2012年7月から2013年6月までの1年間にわたり、世界の200社を超える航空会社を対象に、およそ1,800万人にのぼる世界中のエアラインユーザーによるアンケート調査結果に基づき選出されています。

ガルダ・インドネシア航空 社長兼最高経営責任者 エミルシャ・サタルは、授賞式にて「我々がこれらの賞を受賞できたのは、お客様の満足を最優先に取り組んできた全グループ従業員の努力の賜物です」と述べました。

ガルダ・インドネシア航空では、2015年までの経営戦略「クオンタムリープ」の実施により、サービス、運航業務、人的資本開発、およびコーポレートガバナンスの分野において、これまでに国内および国際機関から多数の賞を受賞しております。2013年夏にはファーストクラスを導入したB777-300ER型機の運航を予定しており、今後も「クオンタムリープ」を通じ、新機材の導入と、スカイトラックス社の5スター認定獲得を目指し、より快適な空の旅を多くのお客様にお届けできるよう、さらなるサービス向上を目指してまいります。



2013年6月18日 フランス パリ航空ショーにて

左:CNN

リチャード・クレスト氏

右:ガルダ・インドネシア航空 社長兼最高経営責任者

エミルシャ・サタル

ガルダ・インドネシア航空会社について:

インドネシア共和国を代表する航空会社。会社設立1949年。日本への運航開始は1962年3月。現在、成田・羽田・関空よりインドネシアへ週28便、直行便を運航中。2013年4月現在、保有機体数は106機、平均機体年齢は5.8年。2012年の日本路線の定時運航率93.3%。インドネシアの文化や伝統をベースとした、五感で感じるインドネシア「ガルダ・インドネシア・エクスペリエンス」がサービスコンセプト。成田・関空発便では、機内にて到着ビザの発給と入国審査が完了する「機内入国審査プログラム」を実施中。日本発着便には日本人客室乗務員が乗務し、快適な空の旅の提供に努めている。